

## 2023 年度 愛臨技 第 1 回輸血班研究会 アンケート結果

開催日時 : 令和 5 年 6 月 10 日(土) 15:00~17:30

開催形式 : 現地開催+オンデマンド配信

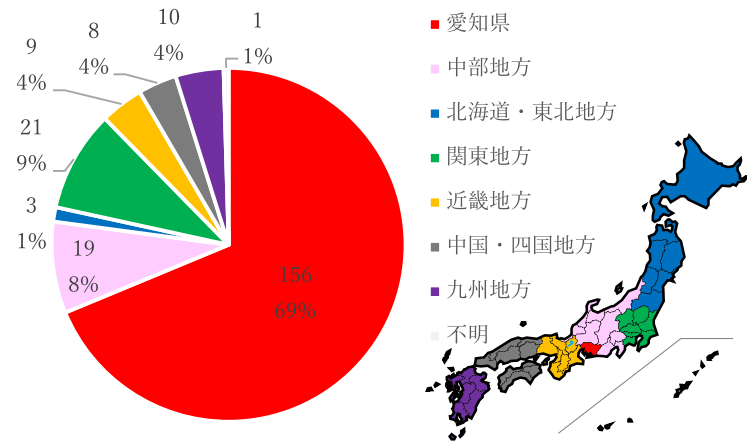
場 所 : アーバンネット名古屋ビル 20F リップルスクエア

テーマ : 「苦手を克服! 基礎から学ぶ輸血業務」

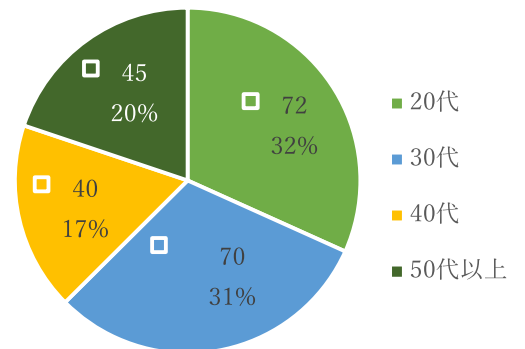
参加人数 : 現地参加 39 名 WEB 参加 204 名 計 243 名

アンケート回収 : 現地 36 件+WEB191 件=227 件 (回収率 93.4%)

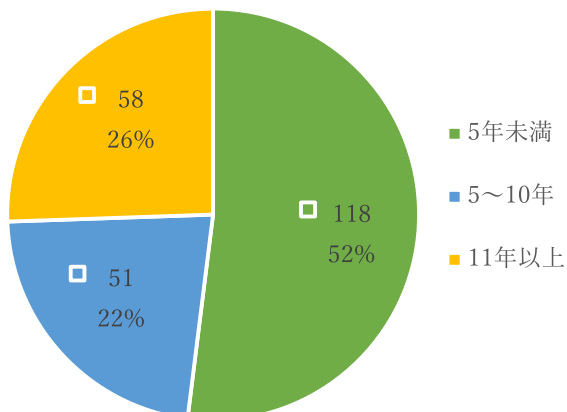
<アンケート 1>所属技師会について



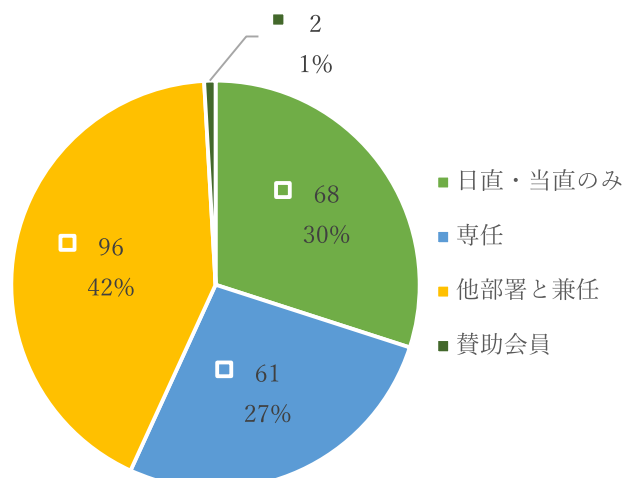
<アンケート 2>年代について



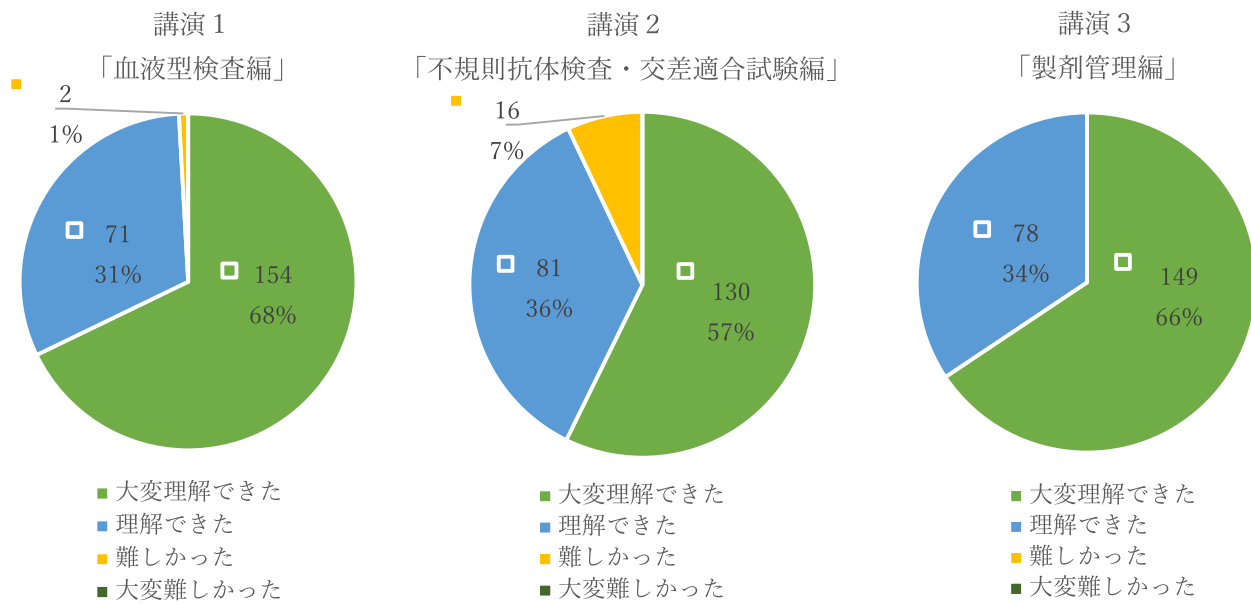
<アンケート 3>輸血業務経験年数について



<アンケート 4>勤務形態について

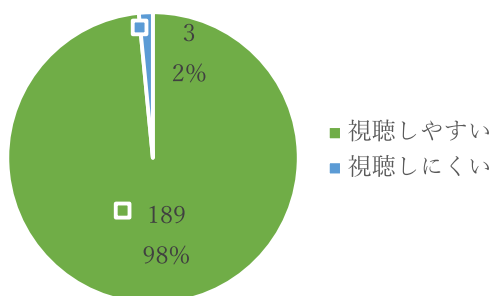


<アンケート 5～7> 講演 1～3 の内容は分かりやすかったですか？



<アンケート 8> オンデマンド配信を視聴された方へ伺います。

今回の講演で配信の視聴しやすさは、いかがでしたか？



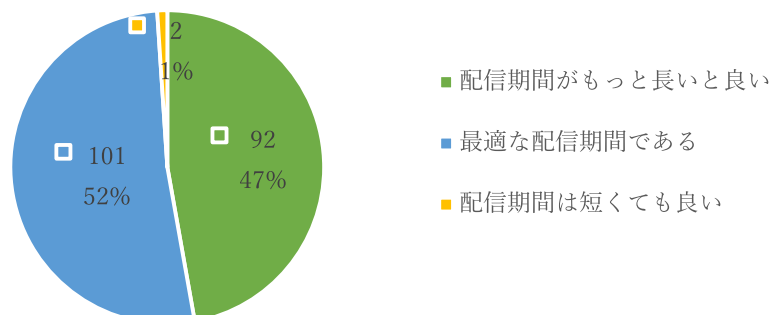
<アンケート 8-1>

アンケート 8 で「視聴しにくい」と回答された方へ  
具体的にどのような部分であったかご記入ください。

・ 広告が合間に入る（2 件）

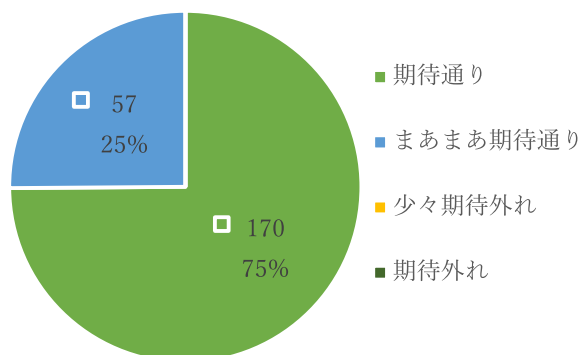
<アンケート 8-2>

オンデマンド配信期間（6/19～6/26）についてはいかがでしたか？



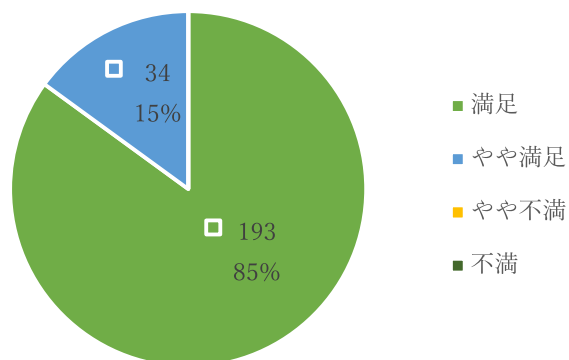
<アンケート 9>

あなたの期待と講演内容は一致しましたか？

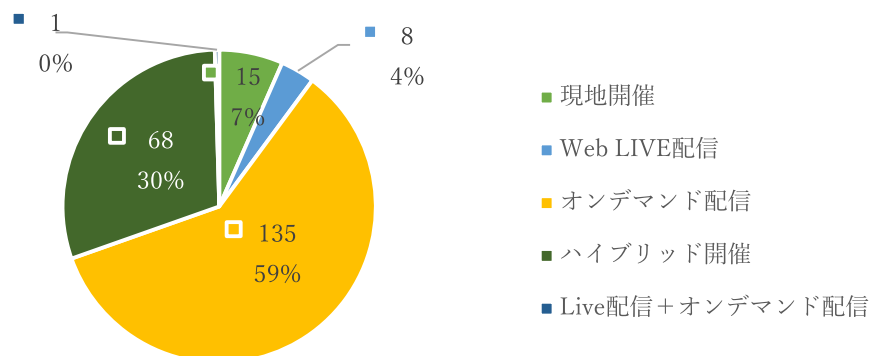


<アンケート 10>

研究会全体を通して満足されましたか？



<アンケート 11> 今後の輸血検査研究会について、どのような形式が良いですか？



<アンケート 12> その他ご意見・ご質問がありましたらご記入ください。

① Q&A

Q1 輸血前検体保管は交差血の残りでも大丈夫でしょうか？汚染の可能性が懸念されますが。

A1 「受血者血液(分離血漿または交差適合試験を実施した血清または血漿)」と、遡及調査ガイドラインに記載があります。コンタミしないようにディスポのスポイトやチューブ等を用いれば、問題ないと思われます。施設の保管場所も限られますし、検査後の残血漿の保管を実施して輸血前検体保管として頂いて大丈夫です。保管場所や採取手順が整えば、輸血前保存検体オーダーなどで、保存用検体として別に採血をして保管するのも一つの方法です。

Q2 血液型の検査での患者検体、血清血漿の優先順位を教えてください。

A2 血液型検査において、自動機を使用するならば血漿で検査を行います。自動機の普及に伴い、「血漿(血清)」の表現になっていると思われます。不規則抗体検査ならば、血清で反応性が変わるものもありますので、参考になると思います。ただし、優劣のものではないと思います。

Q3 血液センターから製剤が納品された際に、製剤番号等は必ずセンター職員と読み合わせするのですか？どの文献に記載されていますか？

A3 スタンダード輸血検査テキストに「センター職員と輸血部担当者が製剤名、血液型、本数、製造番号について納品伝票と製剤バッグで照合し…」と記載があります。また、I&A の重要項目に「血液センターからの入庫受け入れ業務は、夜間・休日においても、照合確認、外観検査を行い、その記録を残している」とあります。

これらより、読み合わせまでは要求されておらず、納品伝票の記載内容（施設名と種類・本数）と製剤の間に相違がなければ良いと思います。仮伝票での納品時などは、配達員より読み合わせの申し出がある場合もありますので、その際は読み合わせを行っていただければと思います。

Q4 K 高値の患者さんに K 吸着フィルターを使用して RBC の輸血をしたいと医師から依頼を受けることがあります。その場合、新鮮血対応を提案することがありますが、その製剤がないときは K 吸着フィルターで対応することがありますが、他に対応方法があれば教えてください。

A4 上記以外の対応として、放射線照射を使用直前に実施する、製剤の洗浄もしくは上清除去などの方法はあると思いますが、準備に時間がかかる、あるいは一定の設備が必要になる対応です。そのため、質問者さんのご施設でおこなっている「新鮮血の対応」や「カリウム吸着フィルター使用」の対応が現実的と言えます。ただし、カリウム吸着フィルターの使用には、カリウム高値のみでは保険適応がないことを医師には伝える必要はあると思います。担当医師と相談の上、対応することをお勧めします。

② アンケート 8-2 「オンデマンド配信期間」に関するご意見

- ・ 週末を 2 回挟んだ 10 日程度の配信だとありがたい。
- ・ 繰り返し視聴したいので、配信期間は長めに設定していただけるといいと思う。

③ アンケート 11 「今後の研究会開催形式」に関するご意見

- ・ 現地開催も増えると思いますが、これからもオンデマンド配信は続けてほしいです。
- ・ なかなか現地に行ったり、その時間ぴったりに視聴できる環境ではないため、今後もオンデマンド配信も続けてください
- ・ 県外からの参加も、今後も承認していただけますようお願いいたします。
- ・ 他県所属でも参加させていただきありがとうございます。
- ・ 専任ではないので、オンデマンドは見直しができるので理解しやすいです。
- ・ 現地開催であったため、質問したいことを気軽に訊くことができました。コロナの感染状況がひどくなければ、今後も現地開催で実施していただきたいです。
- ・ 久しぶりの対面で意見交換の機会ができたので、ありがたかったです
- ・ 意見交換会や症例検討会等、現地開催でのメリットをより受けられるような研究会にしていくことができれば良いのかなと思いました。
- ・ 班員の方へ質問の時間があり、有意義な時間が過ごせました。

④ その他ご意見

- とても勉強になりました。ありがとうございました。（4件）
- 輸血についての基礎を的確にまとめてあり、とても分かり易く視聴できました
- 日々のルーチン業務で気になっていたポイントをわかりやすく説明していただいたので理解が深まりました。ありがとうございます。
- 指針が改訂された際、今回のように所々で比較注釈を入れて頂くと、より理解が深まります。次回もよろしくお願いします。
- 3名の講師皆様、大変スライドが見やすく、重要な要点をしっかりと講義してくださったのでとても勉強になりました。 ありがとうございます。 認定輸血一次試験前の復習に役に立てることができました。 また参加したいです。 よろしくをお願いします。
- 勤務形態の入力選択肢が一致しない